

ので、どこかに5億をつけてくれないかという話だったと思うが、合併特例債の見直しの中で解決されていると理解している。

質問

高崎坂東線について、県でやれというのは市では対応しないということと同じではないか。

答弁(市長)

請願の内容は、県の事業として積極的に推進してほしいということだと理解している。

質問

とても大事な道路だと思ってるが、いまだにかみ合わない。優先順位をきちんと考えてやるのが長の仕事ではないか。

答弁(市長)

道路の大切さ、通学道路としての危険性は認識し、早期に完成させたいという気持ちは一緒である。県の事業として早期にやってほしいという要望をしている。

質問

常総市の将来の展望、一体感の構築、口では簡単に言えるが、これではなかなかできない。支援

事業の中でも支援事業金ではない、制度資金なんだというのが、そんな制度はあったのか。また、以前は企画総務部長が部長のトップであったが、今は企画部長がトップになっている。総務というのはどういう意味なのか。全部を束ねるといふことだと私は思っているが、市長としてどう考えているのか。

答弁(市長)

企画とか総務の話については、私の立場では答えられない。合併支援事業は県の事業で、一体で10億円という事業だと理解しているし、合併した時に当然入っている。

質問

入っているというが、矛盾があるのではないかと話がかみ合わないからやめられないと言っている。(その他の質問) ○市長の財政再建の公約について

9月議会の所信表明について問う(総括)

茂田 信三議員

①その後の進捗状況はどうなっているか。

質問

市役所の日曜開庁について、旧水海道、旧石下それぞれ隔週で午前中だけ開くという説明があったが、それは一歩前進だと思ふ。しかし、人件費についてははつきり述べられていない。私の条件は同じ人件費でやることである。土曜日曜に仕事をするのは当たり前である。行政は最大のサービ産業というが、午前中だけとか隔週というのはそもそも間違っている。なぜ公務員だけが土日休むのか。私が市長だったら、いくらでもやりくりできる。職員を休ませるなどいうのではなく、休みを變則的にすれば良い。同じ予算で早急にやってもらいたい。

次に、循環バスについて、循環バス、乗り合いタクシー、福祉タクシーの三通り走らせるといふことだが、乗り合いタクシーは議会で議決があったもので、市長になった

らそれを變えるというのは予算の無駄遣いである。市長は執行権者であるが、一度議会で決まったものを議会での討論、協議、採決等なしに變えてはいけない。以前採用していた水海道地区の循環バスを私はほとんど見ていないが、旧石下町では空気を運んでいるような状態だった。だからこそ廃止にしたのではないか。今度まただめだったらまた戻すのか。そんなことは聞いてもらえない。三本立てにするというが、その場合費用はいくらかかるか。

答弁(市長)

日曜開庁については、いきなり全面開庁は難しいので、当面できる範囲からやらせようということのできた案が、1月からの日曜日の午前中の開庁である。石下地区でもやってほしいという要望があったので隔週となった。まずやれるところからスタートをして、市民の反応を見ながら本格的な実施に移していきたい

と考えている。循環バスについては、重なる部分はデマンドタクシーを縮小して、補充しあう形であわせてやっていく。二一ス調査や路線の調査など、十分調査を行い、綿密に計画を立てて実行していきたい。

答弁(企画部長)

経費について、乗合交通は23年度で、補助金を差し引いた市の実質負担は3100万円。福祉タクシーの助成は障がい者等を対象とし200万円の経費がかかっている。循環バスは台数等具体的に詰めて積算しないと出せないのが今のところ未定であるが、以前の福祉循環バスでは、水海道地区、石下地区あわせて約



市民課窓口